

事業概要表（草の根パートナー型）

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	インドネシア共和国
2. 事業名	官民協働によるコミュニティラジオを活用した防災力強化事業
3. 事業の背景と必要性	東ジャワのクルード山、中部ジャワのメラピ山、北スマトラのシナブン山は噴火を繰り返し、中腹まで村落が点在するため、過去 10 年間にいずれの火山でも火砕流、土石流などによって死者被害が出た危険な火山である。この三つの火山の周辺地域には災害対応を目的の一つとするコミュニティラジオ局が、本事業の現地カウンターパート（C/P）のインドネシア・コミュニティラジオ・ネットワーク協会と同じく C/P のコンバイン・リソース・インスティテューションなどの支援で開設され、住民の手によって活動が続けられている。しかし、住民の参加だけでは災害時対応を含めて、地域に信頼されるコミュニティ防災の担い手にはなり得ない。県防災局、村役場、防災 NGO、研究機関、広域マスメディアなど災害対応や防災・減災活動で重要な役割を果たす組織と連携し、コミュニティラジオを地域防災の核として、活用していくことが求められる。
4. プロジェクト目標	対象地域がコミュニティラジオを核とした地域防災力向上のモデルとなる。
5. 対象地域	東ジャワ州クディリ県スンプ村・スギワラス村・サタ村・シマン村、中部ジャワ州ボヨラリ県サミラン村・ムリヤン村、北スマトラ州カロ県プルトゥグヘン村・バトゥカラン村
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	対象地域の住民、コミュニティラジオ局、村役場、県防災局
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コミュニティラジオ局が対象地域の住民に火山噴火に対応した災害情報の提供を通じて防災の知識の向上に資する役割を担う。 2. 対象地域の県防災局と村役場が防災活動を展開する上でコミュニティラジオと協働する。 3. 防災機関（NGO、大学、研究機関、行政機関）とコミュニティラジオ局による防災に関する協働活動が行われる。 4. 広域マスメディアとコミュニティラジオとの間で防災情報の伝達に関する連携体制が構築される。
8. 実施期間	2017 年 7 月～2022 年 3 月（4 年 8 ヶ月）
9. 事業費概算額	65,309 千円
10. 事業の実施体制	当団体が現地カウンターパートの CRI、JRKI、UAJYK とともに事業を実施し、適宜、JICA 関西、JICA インドネシア、国家防災庁（BNPB）と活動状況について共有し、助言を受ける。目標達成のため現地に業務調整員と情報支援やコミュニティ防災担当の専門スタッフを配置し、プロジェクトの進捗状況に応じて専門家を派遣する。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人エフエムわいわい
2. 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・放送法によるコミュニティ放送事業 ・災害の被災者支援・防災力向上事業 ・国内外のコミュニティメディアとの連帯強化事業 ・多文化共生のまちづくりに資するイベントの企画、制作、および運営事業 ・多文化共生のまちづくりに資する研究、教育、啓発事業